

事務事業名					担当	母子健康係	
政策名					電話番号	0285-83-8121	
施策名					<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	母子保健法、発達障害者支援法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成13 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	広汎性発達障害、行動障害などの発達の問題や不適切な育児環境等の問題を抱える親子への注目が高まっている。乳幼児健康診査においても、精神発達や家庭環境の問題が幼児の発達を阻害しているケースが増えている。本事業を行うことで、それらの問題の解決を図るとともに継続した支援を行うことができ、将来起こりうる問題に対しても速やかな予測と対応をすることができる。発達の問題を抱える親子は、不安も大きい上に社会的にも孤立しやすい。専門職との相談場を設けたり、継続した関わりを持つことで、より健全な親子関係の構築と幼児の成長発達を促す効果がある。それら、支援が必要とされる親子に対して、発達を支援するとともに育児不安の解消を図る。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 乳幼児健康診査等で発達の遅れに問題がある幼児へ、遊びの教室12回・心理発達相談12回を実施し、対象児の発達の観察や保護者との個別相談を行い、今後の発達への支援を検討し、療育機関等他機関との連絡調整を行った。 27年度計画 平成25年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	参加した幼児数（実数）		50	63	60			
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 2歳児歯科検診、3歳児健康診査、のびのび発達相談を通し本教室への参加が必要と判断された幼児	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	参加が必要と判断された幼児数		55	69	66			
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 発達の遅れや歪み、行動や生活環境に問題のある幼児や、育児不安や不適切な養育環境等の問題のある親についての問題解決を図り、より良い親子関係を構築し、幼児の成長発達を向上させる。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	参加率 <small>（参加した幼児数/参加が必要と判断された幼児数）</small>		90.1	91.3	90.9			
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 適切な育児環境のもと健全な親子関係を築き、将来にわたっての不安を解消する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア	教室に参加し健やかな成長に結びついた割合		100	100	100			
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	450	450	450	0	0
	事業費計（A）			千円	450	450	450	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	0	0	
		延べ業務時間	時間	384	384	384	0	0	
		人件費計（B）	千円	1,629	1,614	1,561	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	2,079	2,064	2,011	0	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	広汎性発達障害・行動障害など発達の問題を抱える幼児が乳幼児健診などで徐々に表面化したことから、その発達を支援することで幼児の健やかな発達を図るため、平成13年度より実施することになった。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？									
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・保護者からは、心理発達専門の先生に自分の子供の特性や具体的な向き合い方をアドバイスしてもらえるので有効だという声が多く聞かれている。								

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 母子保健法に基づく事業であり、幼児の健やかな発達を促すのは市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 母子保健法に基づく事業であり、幼児の健やかな発達及びその家族の支援を行うことは市の責務であり、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 母子保健法に基づく事業であり、幼児の発達支援を行う上での対象・意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 母子保健法に基づいて実施しているので、向上余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 母子保健法に基づく事業であり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の予算で実施しているので、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しているので、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 対象となる乳幼児全員を支援するので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							